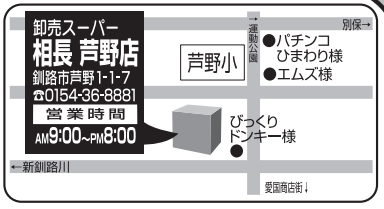
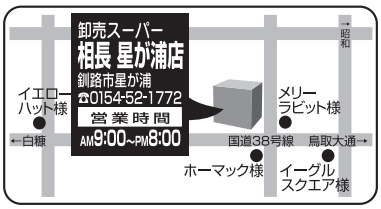
あいちょうだより

釧路から35年ぶりに武修館高校が甲子園に出場しますね。各地の強豪と暑さに打ち勝つよう精一杯応援しましょう。当店も54円セールで!!

2014年8月
第42号





こんにちは、まだまだ若者には、負けられないと、体力造りに頑張っている食品担当の石村です。釧路にも、ようやく夏到来ですネ！夏といえば、やはり、お祭り、花火でしょうか！私の子供の頃は、お祭りは、お正月の次に楽しみな行事でしたネ！お小遣いも沢山もらえ、新しい洋服も買ってもらえるのが嬉しかったです。田舎で育ったので"映画"は車で"隣町まで"行って見てましたが、お祭りには、小林旭や、石原裕次郎の映画を見ることが出来るのです。渡哲也シリーズ"は近所の子供達と、よく真似をして遊びました。もちろん私がナイス・ガイの役でしたネ！また露店でわた菓子をよく買って食べました。これがまたとっても美味しくて、今でも孫達が持っていると つい手を出して食べてしまいます。今ではあの頃の感動もすっかり薄れてしまいましたが、久々にお祭りに行って見ようかなと、思っています。

こんにちは芦野店青果部の五十嵐です。
いつもご来店いただき、ありがとうございます。
釧路にも短い夏が訪れ、
今年もお祭りの季節がやって来ましたね。
私のお祭りの思い出と言えば・・・まだ北大通りが賑わっていた頃、十字街から栄町に続く通り一帯に、たくさんの屋台や露店が、ところ狭しと並んでいた光景です。
子供の頃、弟や妹と一緒に色付きりんごを買ってもらったことが、懐かしく思い出されます。
今では、そんな露店も見かけなくなり、寂しくなりましたね。
港祭りも終わり、お盆のお参りや、お届いものに、
メロンギフトは、いかがですか？
メロンには、スイカと同様にカリウムが多く含まれていますので、体の余分な塩分を洗い流してくれます。
また凍らせてもおいしいメロンゼリーもおすすめです。
これからも皆さまのご来店を、心より お待ちしております。

あいちょう便りをご愛読の皆様、こんにちは(こんばんは)仲浜店 木村です。今回は「お祭り」をテーマとして私の体験した事を書いてみました。私自身、子供の頃の「祭り」は、ほとんど記憶にないですね。覚えているのは3人の子供達との楽しんだ事です。祭りと言えば、ほとんどの子供達が夢中なる出店ですね。その祭りも今は子供達から孫へと・・・・。今回の主人公はこの孫(男)が3才の時、港まつりでの出来事です。行く前に「絶対に離れたら駄目だよ」と言ったら「うん」との返事。この孫、誰に似たのか、落ち着きがないんです。見る物に興奮して、1人で先に行くので今回も注意して見てたが、やっぱり「ちょっと」「ちょっと」と行ってしまったので、悪い予感通り孫の「じじーい」「じじーい」と泣き叫ぶ声。嫁に「泣いているぞ」と言ったら「じじーい」と言ってるから「連れてって」だって。頭を殴ってやろうと思いながらも可愛い(?)孫を見たら、慰めている「じじーい」の姿です。その孫も今は小学校2年生となり懐かしい孫との「お祭り」の出来事でした。

愛国プー横丁 ちえ店長の 今月のおすすめ本

「おねしょのかみさま」　長谷川義史　学研

「おねしょ」は、昔から人類共通の悩みかもしれませんネ。日本は、八百万の神の国だそうですが、「おねしょの神様」までいるとは、ついぞ知りませんでした。
おねしょに悩むゆうちゃんのもとに現われて、踊っていくおねしょの神様が、ある日、「おねしょをしなくなる、おまじない」を教えてくれましたが・・・
このおねしょの神様のいでたちが何とも珍妙で、おまじないの効果のほどは、保証の限りではありません。

社長通信 No.45

釧路を代表する昔からのお祭りといえば、やはり港祭りですね。水産都市として全国に名を馳せた頃の賑わいはハンパない程でした。
栄町公園に出ていた露店や見せ物小屋の周りは黒山の人だかりで、特にすり鉢状のコースを走るバイクとロクロ首女のお化け屋敷は、引率の祖母や母が強って、いつも入口で指をくわえて見ているだけでした。
そんな苦い思い出も単細胞の自分は、帰りに買ってもらえる東京ケーキ(あたたかい鈴カステラのような物)で吹きとんでしまいます。でも、あの頃は紙袋入りで80円、経木で包む大サイズが200円だったのに、今では500円と1,000円・・・・5倍以上になったのには、おじさんも怒るよー。
それでも、テレビゲームやスマホ漬けの現代っ子が、スマートボールや型抜きに興じている姿には、何故かホッとする今日、この頃です。大人の皆様には、当店のウルトラ祭りやお盆明けのコストコ祭りにも、是非お越し下さい。合掌。